

第 18 回 ESI Symposium

「電力システムの変容を支えるシステムインテグレーション」

主催： 東京大学生産技術研究所

エネルギーシステムインテグレーション社会連携研究部門 (ESI)

共催： 東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス (APET)

東京大学エネルギー・資源フロンティアセンター (FRCER)

東京大学生産技術研究所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター

日時： 2023 年 12 月 7 日 (木) 13:00 – 17:30

場所： 会場 (東京大学生産技術研究所 駒場リサーチキャンパス内) と

Zoom オンラインによるハイブリット開催

趣旨

2050 年カーボンニュートラル実現に向けて、あらゆる分野での取り組みの検討が加速する中、2021 年 10 月の第 6 次エネルギー基本計画の決定から 2 年余が経ち、基本計画の実現に向けた取り組みの実績のレビューが開始されている。しかし、他方、電力需給逼迫、燃料の不足と高騰による電力価格高騰が発生し、再生可能エネルギーでは、特に大きな容量増加が期待される太陽光発電と風力発電の足元での出力制御量が増加し、補助金と調整力市場に後押しされた系統用蓄電池の大量の接続申し込みが行われ、電力市場制度の再検討が開始されるなど、新たな動きも始まっている。

海外に目を向けると、ウクライナ軍事侵攻等のグローバルなエネルギー情勢の変化がもたらすエネルギーの需給ひっ迫とコスト上昇の恐れは、欧州では再エネ導入・電化・新燃料導入などを 2030 年目標の引き上げにつながり、米国でも再エネ・電化需要による分散資源の最大活用に向けた取り組みが進められている。

本シンポジウムでは、エネルギー政策の目指すべき方向性であるエネルギー需給自給率 (Energy Security)、経済効率性 (Economic Efficiency)、環境適合 (Environment) の 3 E 同時達成のもとで、今後の電力システムの設備形成と運用の継続的改善による変容を支える「システムインテグレーション」にかかる課題を抽出して、それぞれの解決への取り組みの方向性について議論する。

■プログラム（講演タイトルと講演者は変更されることがあります。）

- 13:00 開会
- 13:00～13:05 開会挨拶 東京大学生産技術研究所 特任教授 荻本 和彦
- 13:05～13:40 講演「今後の電力ネットワーク政策の方向性等について」
資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力基盤整備課 課長 小川 要
- 13:40～14:15 講演「太陽光発電の電力システムへの統合に向けた課題とチャレンジ」
一般社団法人 太陽光発電協会（JPEA） 事務局長 増川 武昭
- 14:15～14:50 講演「風力発電の系統への貢献」
株式会社ユーラスエナジーホールディングス 北海道技術部 部長 岡 泰延
- 14:50～15:00 （休憩）
- 15:00～15:35 講演「3E同時達成のために系統用蓄電池が担うべき役割」
日本蓄電株式会社 Senior Market and Policy Expert 阿部 祐希
- 15:35～16:10 講演「需給運用(エネルギーマネジメント)の現状と将来について」
東京電力パワーグリッド株式会社 経営企画室 副室長 兼 系統運用部 片岡 俊朗
- 16:10～16:20 （休憩）
- 16:20～17:30 パネルディスカッション
パネリスト 各講演者
東京大学生産技術研究所 教授 岩船 由美子
モデレータ 東京大学生産技術研究所 特任教授 荻本 和彦
- 17:30 閉会挨拶

■参加費 : 無料

■申込方法 : 以下の HP よりお申込みください。（要事前登録）

<https://www.esisyab.iis.u-tokyo.ac.jp/symposium/20231207/sympo20231207.html>

※ 申込締切 定員に達した時点、または 2023 年 12 月 1 日（金）12 時

※ 当日申込の受付予定はありません。

■お問い合わせ：東京大学 生産技術研究所 ESI 社会連携研究部門 事務局

E-mail : esi@iis.u-tokyo.ac.jp